

目 次

目 次

第 1 章 序 論	1
1.1 背景と目的.....	1
1.2 國際的地位の向上.....	2
1.3 本論文の構成	3
第 1 章 引用文献.....	9
第 2 章 世界の水をめぐる現状.....	11
2.1 水不足.....	11
2.2 水質汚染	13
2.3 水に起因する災害.....	14
2.4 水危機の地球規模化	14
第 2 章 引用文献.....	16
第 3 章 「水分野」、「国連」、「地球規模」、「日本」に関する取り組みが機能するための要件	17
3.1 地球規模の水分野の取り組みの比較・分析.....	17
3.2 国連の環境・水分野	17
3.3 日本の国際援助	19
3.4 地球規模の水問題.....	20
3.5 特定の国際的な水分野の取り組み（WWF）	21
3.6 要件抽出と考察	22
第 3 章 引用文献.....	27
第 4 章 国連世界水アセスメント計画（WWAP）の発展	33
4.1 国連世界水アセスメント計画（World Water Assessment Programme: WWAP）の概要	33
4.2 構想段階（～2000 年 3 月）	37
4.3 計画段階（2000 年 3 月～2001 年 4 月）	42
4.4 実施段階（2001 年 4 月～2003 年 7 月）	49
4.5 國際的評価.....	54
1) 国連等の国際的な場での評価	54
2) UNESCO での位置づけ	55
3) 日本を始めとするドナー国やケース・スタディ国などの反応	55
4) 國際的な専門家等の評価	57
第 4 章 引用文献.....	58

第5章 GIWAとの比較	63
5.1 WWAPとの比較対象の検討	63
5.2 グローバル国際水域評価（Global International Waters Assessment: GIWA）の概要 ...	65
5.3 資金面	66
5.4 国連機関の支援、協力体制	66
5.5 ケース・スタディの体制	68
5.6 メディア戦略	69
5.7 支援国	69
5.8 事務局の体制	70
5.9 水分野の有識者等による評価	70
5.10 インターネット上でのヒット数の比較	71
5.11 まとめ	72
第5章 引用文献	73
 第6章 日本の比較優位	77
6.1 國際協力	77
6.2 水災害	80
6.3 水供給	81
6.4 水環境	83
6.5 研究	84
6.6 総合的水管理などの経験	85
第6章 引用文献	88
 第7章 国際的に重要度が増す「水」分野とWWAP及び日本の役割	89
7.1 国際的に重要度が増す「水」分野	89
1) 水危機の現状	89
2) 水分野の援助	90
3) 国連総会の決議等の増加	91
4) 国連首脳会議	91
5) G8行動計画（エビアンサミット）	92
6) 水に関する国際会議の推移	92
7.2 WWAP及び日本の役割	97
1) UNCED以前（～1992年）	97
2) WSSD以前（1993～2002年）	99
3) 3WWF及びそれ以降（2003年～）	103
第7章 引用文献	106

第 8 章 結 論	111
8.1 WWAP の発展要因の分析と日本主導の水に関する国連の取り組みが機能する要件についての考察	111
1) 構想段階	111
2) 計画段階	112
3) 実施段階	114
4) リーダーシップが發揮される資質及び環境	115
8.2 GIWA との比較による WWAP のような水問題に関する国連の取り組みが成功するための要因についての考察	116
8.3 結 論	120
第 8 章 引用文献	122
第 4 章 参考資料	123
参考資料 4.1 世界水アセスメント計画プログラムの概要	123
参考資料 4.2 國際連合組織図	127
参考資料 4.3 世界水アセスメント計画の共同実施国連機関の概要	128
参考資料 4.4 ハーグ閣僚宣言原文	134
参考資料 4.5 第 2 回世界水フォーラム・「川と水セッション」における UNESCO 事務局長 松浦晃一郎氏の特別講演（2000 年 3 月 20 日）	138
参考資料 4.6 第 2 回世界水フォーラム閉会式 国連水の日「21 世紀に向けての水」における UNESCO 事務局長 松浦晃一郎氏の講演（2000 年 3 月 22 日）	142
参考資料 4.7 閣僚宣言「琵琶湖・淀川流域からのメッセージ」（2003 年 3 月 23 日）	145
参考資料 4.8 第 3 回世界水フォーラム閣僚会議閉会式における UNESCO 事務局長 松浦晃一郎氏の基調講演（2003 年 3 月 22 日）	150
参考資料 4.9 第 3 回世界水フォーラムにおける WWAP セッションの位置付け（第 3 回世界水フォーラムプログラム）	156
参考資料 4.10 第 3 回世界水フォーラムにおける WWAP セッションの概要	157
参考資料 4.11 世界水発展報告書（World Water Development Report）創刊号	162
参考資料 4.12 国際淡水年（2003）に関する第 55 回国連総会決議（55/196）からの抜粋	165
参考資料 4.13 国際淡水年（2003）に向けた準備状況に関する第 56 回国連総会決議（56/192）からの抜粋	166
参考資料 4.14 国際淡水年（2003）に向けた準備における活動に関する第 57 回国連総会決議（57/252）からの抜粋	167
参考資料 4.15 国際淡水年（2003）に向けた準備における活動に関する第 57 回国連総会事務総長報告からの抜粋	169
参考資料 4.16 「生命のための水」国際行動の 10 年（2005-2015）に関する第 58 回国連総会決議（58/217）からの抜粋	171

参考資料 4.17 第 3 回世界水フォーラム閣僚級国際会議における UNESCO 事務局長 松浦晃一郎氏の基調講演からの抜粋	173
参考資料 4.18 第 3 回世界水フォーラム閣僚宣言—琵琶湖・淀川流域からのメッセージからの抜粋	176
参考資料 4.19 第 11 回国連持続可能な開発委員会（2003 年 1 月 27 日、4 月 28 日～5 月 9 日）報告書からの抜粋	177
参考資料 4.20 水に関する G8 行動計画（2003 年）からの抜粋	178
参考資料 4.21 国連プレス・リリース（2001 年 3 月 12 日付）「国連事務総長、世界水の日に寄せるメッセージにおいて、安全な水へのアクセスは人間の根本的な要求かつ基本的人権であると言及」からの抜粋	179
参考資料 4.22 国連プレス・リリース（2002 年 2 月 26 日付）「国連事務総長、世界水の日に寄せるメッセージにおいて、世界の水問題は『協調への触媒』に成り得ると言及」からの抜粋	180
参考資料 4.23 『第 3 回世界水フォーラムにおける国連：代表者ガイド』に寄せられた国連事務総長のメッセージからの抜粋	181
参考資料 4.24 国連プレス・リリース（2006 年 3 月 17 日付）「国連事務総長、国際デーに寄せるメッセージにおいて、今年の世界水の日のテーマは『水と文化』であると言及」からの抜粋	182
参考資料 4.25 世界水発展報告書第 2 版（WWDR-2）巻頭言	183
参考資料 4.26 UN-Water における WWAP の位置付けを示す UN-Water 『第 3 回世界水フォーラムにおける国連：代表者ガイド』からの抜粋	184
参考資料 4.27 WWAP への重点配分を示すユネスコ『承認プログラム及び予算（2002-2003）』からの抜粋	185
参考資料 4.28 UNESCO 最優先課題としての「水」に言及する UNESCO 事務局長 松浦晃一郎氏の講演（2000 年）からの抜粋	188
第 4 章 参考資料 引用文献	189
第 5 章 参考資料	194
参考資料 5.1 グローバル国際水域評価（GIWA）の概要	194
参考資料 5.2 第 3 回世界水フォーラムにおける GIWA セッション GIWA 分科会の位置付け	201
参考資料 5.3 第 3 回世界水フォーラムにおける GIWA 分科会の概要	202
参考資料 5.4 グローバル国際水域評価（GIWA）最終報告書（表紙）	206
第 5 章 参考資料 引用文献	207
謝 辞	208
卷末資料	209
1) 図表一覧表	209
2) 略語一覧表	212